

# 謹賀新年

院長 奥田 康一



明けましておめでとうございます。皆様おだやかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年一年が大過なく無事に過ごすことができますように心よりお祈りいたします。

さて、昨年のお世相をあらわす恒例の漢字一文字は『金』でした。2000年も同じ文字でしたが、当時はシドニーオリンピックや南北朝鮮の金・金会談などが選ばれた理由でした。2012年の印象的な出来事では、やはりロンドンオリンピックでのメダル獲得数が史上最多であったことやスカイツリー、金環食などがまずは思い起こされたことでしょう。

私共医学を志す者にとっての金字塔は、何と言っても京都大学の山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞し、金メダルを授与されたことでした。日本人がノーベル生理学・医学賞を受賞するのは、1987年の利根川進マサチューセッツ工科大学教授以来二人目の快挙であり、利根川教授の受賞理由は「多様な抗体を生成する遺伝的原理の解明」でした。今回山中教授が受賞した業績は、iPS細胞(人工多能性幹細胞)の研究にあります。山中教授の研究成果を応用することにより、失われた神経や血管などの組織や臓器の一部が再生され、機能を取り戻すことができたり、難病のメカニズムが解明され、その治療薬が開発される日もそう遠くないかもしれません。

私にとっては山中先生が卒業後整形外科医師を目指していたことも驚きでした。手術を行うのに時間がかかり「じゃまなか」などと揶揄されたというようなエピソードも紹介されていましたが、臨床から基礎研究に早期に転身されました。難病に苦しむ患者さんに役立つ研究を目指して、研究生活に没頭されました。山中教授の言葉の端々から、基礎的研究の成果を臨床に早く生かそうという強い決意が見られます。受賞後の記者会見で、色紙に『初心』と書かれました。ノーベル賞受賞は過去のこととして、初心に戻り、さらに研究成果を実用化すべく努力される決意をされていました。

浜松赤十字病院も浜北区に移転して5年経過しました。この間、地元の急性期病院として地域医療を担い、入院治療が必要となるような重症者の診療を中心として、役割を果たしてまいりました。すなわち、診療所、病院、各種施設、家族の方々と連携して、地域完結型医療を展開してまいりました。

私共も年の初めに初心に戻って、地域の皆様に安心、安全で高度な医療を提供するべく、今後も努力し続ける所存です。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



# 病院探険 災害に対応した浜松赤十字病院

番外編

## 1 立地

当院は西部医療圏の2次救急病院の中で最も北に位置し、災害時には、浜松市北部の災害医療活動拠点としての役割を担います。

また、昨年開通した新東名・浜松浜北ICからは車で約5分(距離:約4km)とアクセスも良くなり、患者の搬送や全国からの救援チームの集結が円滑に行えます。



## 2 日本赤十字社の災害救護活動

全国に92ある赤十字病院中、62病院が災害拠点病院であり、日本DMAT研修を始め、同一内容の全国赤十字救護班研修会等を行っています。

東日本大震災では発災当日、当院を含む全国から55の医療救護班がまず被災地に出動し、半年間の間に1,101班を派遣、急性期から慢性期・介護にわたるまで継続的な支援活動を行いました。

また、災害時には、医療スタッフが激務に対応できる期間は限られており、不眠不休の被災地職員のための交代要員の確保が必要です。全国の赤十字病院には、医師・看護師をはじめ、6万人を超える職員がおりますので、疲弊した石巻赤十字病院に対して、半年間以上にわたり応援要員の派遣を続けることができました。



▲訓練写真:重症エリア

当院でも、災害医療に関する研修会や訓練を定期的に開催してレベルアップを図り、万一の災害に対応できるよう体制を整えています。

# やさしい 疾患手帳

狭心症 循環器内科副部長 待井 将志



## Profile プロフィール

- 所属/循環器内科 ●役職/副部長
- 専門分野/循環器一般
- 認定医・専門医等/日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医
- 自己PR/皆さんのお役に立てるように頑張ります

核医学検査(心筋シンチ)、心臓CT検査、心臓カテーテル検査などで確定診断をします。冠攣縮性狭心症の場合は、心臓カテーテル検査で血管の痙攣の誘発試験を行うことによって確定診断をします。どちらの狭心症も、症状がない状態では血液検査、心電図検査、心臓超音波検査では異常が認められないことが多いです。

治療に関しては、労作性狭心症の場合は、細くなった冠動脈を広げるカテーテル治療(ふうせん治療、ステント治療)が一般的です。場合によっては、バイパス手術を行うこともあります。冠攣縮性狭心症の場合は、血管の痙攣を予防する薬を内服することが一般的です。

上に述べたような症状がある方は、早めに循環器科を受診しましょう。

狭心症とは、一時的に心臓(心筋)虚血になることにより胸痛・胸部不快感などの症状が出現する病気です。狭心症は一般的に、大きく二つに分類されます。労作性狭心症と、冠攣縮性狭心症です。

労作性狭心症とは、心臓に栄養を送る血管(冠動脈)に動脈硬化が起こり、血管内腔が細くなることにより発症します。血管内腔が細くなっているため、坂道を登ったとき、力仕事をしたときなどの労作時に心臓が血流不足(虚血)となり、胸痛などの症状が出現します。安静にすると数分で症状が改善します。喫煙、糖尿病、高血圧、高脂血症、家族歴(身内に狭心症がある)が危険因子といわれています。

冠攣縮性狭心症とは、心臓の血管の動脈硬化はそれほどひどくはありませんが、一時的に血管が痙攣を起こし細くなるため心臓の虚血が起こり、胸痛などの症状が出現します。血管の痙攣は一般的には、早期安静時におこりやすいといわれています。

診断に関しては、労作性狭心症の場合は、負荷心臓

今回、私が講演いたします。お気軽にご参加ください。

# 第66回 日赤いきいき健康塾

日時 2月9日(土) 13時30分開場 14時00分開演

場所 浜松赤十字病院 2階研修ホール

講師 浜松赤十字病院 循環器内科副部長 待井 将志

## 演題

「心不全を正しく理解しよう ~日常生活で出来る心不全の予防策~」



●お問合せ・お申込み先  
浜松赤十字病院 総務課 社会係  
電話: 053-401-1111 (代表)

# EVENT 情報

いずれのイベントも入場無料です

## フォークコンサート

日時 1月30日(水) 15時00分開演

場所 浜松赤十字病院 玄関ホール

バンド名 Half way

## プロフィール

学生時代のサークルで結成し、約5年間の活動後休止。学生時代のサークルで結成し、約5年間の活動後休止。70年代~80年代の、フォークソングをこよなく愛すオバサンデュオです。

曲名 「時代」「なごり雪」「卒業写真」「翼をください」など

